

2019年度第2四半期決算説明資料

証券コード：5332

2019. 10. 31

目次

1. 2019年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2019年度修正計画

ハイライト

日本の好調により増収も、海外住設ならびにセラミックの市況悪化の影響等で減益。

グローバル住設事業（日本）：増収増益

- ◆リモデル、新築ともに増収増益。

グローバル住設事業（海外）：減収減益

- ◆中国は、二、三線都市への取組み強化により売上は回復するも、一線都市の市況停滞ならびに為替影響で減収減益。
- ◆アジアは、ベトナムの一時的な悪化により減収減益。
- ◆米州は、ウォシュレット好調により増収も、販促コスト増で減益。

新領域事業：減収赤字

- ◆セラミック事業は、市況悪化の影響で減収赤字。

2019年度第2四半期決算

P/L概要

単位：億円

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)		
売上高	2,810	2,963	+153 (+5%)	▲18	+171 (+6%)	2,939	+24 (+1%)
営業利益 [営業利益率]	180 [6.4%]	174 [5.9%]	▲6 (▲3%)	▲3	▲3 (▲2%)	163 [5.5%]	+11 (+7%)
経常利益	201	179	▲22 (▲11%)	▲18	▲4 (▲2%)	170	+9 (+5%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	132	124	▲8 (▲7%)	▲17	+9 (+6%)	124	+0 (+0%)

■為替レート

	2018年度		2019年度		2019年度 計画
	1Q	2Q	1Q	2Q	
1ドル	108.2円	109.1円	110.2円	109.9円	110.0円
1元	17.0円	17.1円	16.3円	16.1円	16.0円
1ユーロ	133.1円	130.0円	125.2円	123.5円	130.0円

2019年度第2四半期決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	1,992	2,188	+196 (+10%)		+196 (+10%)	2,100	+88 (+4%)
住設事業 (海外)	665	655	▲10 (▲2%)	▲19	+9 (+1%)	699	▲44 (▲6%)
新領域	151	118	▲33 (▲21%)	+0	▲33 (▲22%)	139	▲21 (▲15%)
その他	1	1	+0		+0	1	+0
合計	2,810	2,963	+153 (+5%)	▲18	+171 (+6%)	2,939	+24 (+1%)

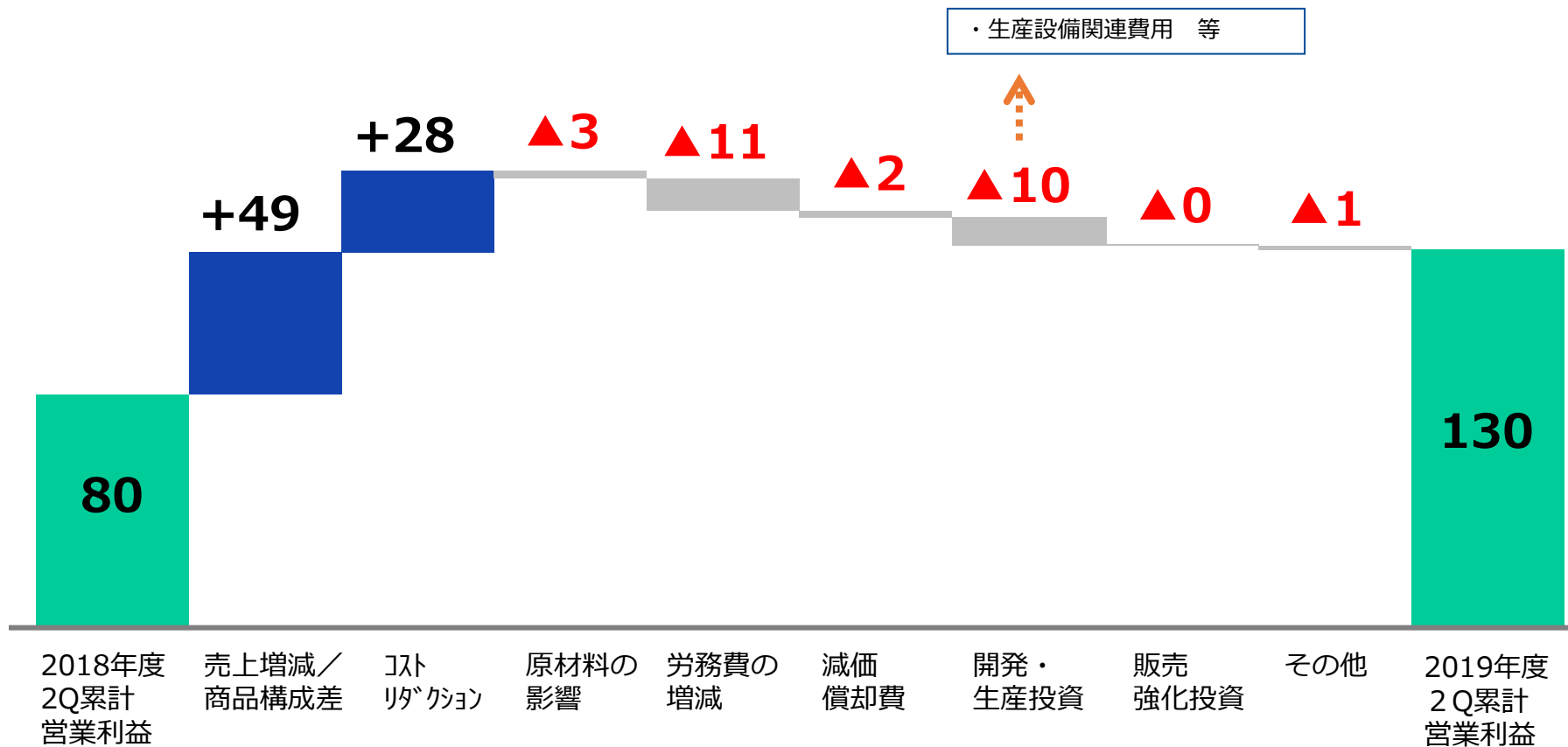
<営業利益>	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	80	130	+50 (+61%)		+50 (+61%)	92	+38 (+42%)
住設事業 (海外)	110	69	▲41 (▲37%)	▲3	▲38 (▲34%)	85	▲16 (▲18%)
新領域	6	▲7	▲13	+0	▲13	4	▲11
その他	▲16	▲17	▲1		▲1	▲18	+1
合計	180	174	▲6 (▲3%)	▲3	▲3 (▲2%)	163	+11 (+7%)

2019年度第2四半期決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異+50億円の内訳）

単位：億円



計画差	+29	+3	+2	+0	+2	+4	▲1	+0	+38
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2019年度第2四半期決算

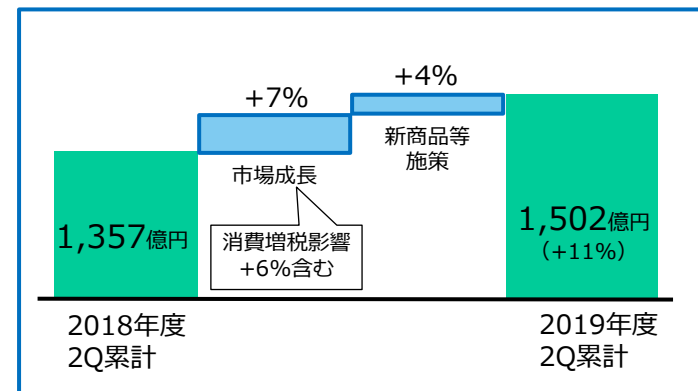
グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高	1,357	1,502	+145 (+11%)
営業利益	66	108	+42 (+63%)
営業利益率	5%	7%	+2pt



<新築>

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高	634	685	+51 (+8%)
営業利益	14	21	+7 (+53%)
営業利益率	2%	3%	+1pt

【需要】	2019年度2Q累計	着工
	住宅	▲2%
【売上高】	2019年度2Q累計	合計
	住宅	+4%
	非住宅	+15%

消費増税の駆け込み影響に加えて、高付加価値商品の続伸により、リモデル、新築ともに増収増益。

2019年度第2四半期決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)
衛生陶器	416	459	+43 (+10%)	27	33	+6 (+19%)
ウォシュレット	456	485	+29 (+6%)	55	59	+4 (+7%)
水栓機器	415	437	+22 (+5%)	16	23	+7 (+44%)
浴室	461	536	+75 (+16%)	▲0	17	+17
キッチン・洗面	204	234	+30 (+15%)	▲10	3	+13
その他	37	34	▲3 (▲8%)	▲7	▲6	+1
合計	1,992	2,188	+196 (+10%)	80	130	+50 (+61%)

全商品増収増益。特に浴室が好調、キッチン・洗面は黒字化。

2019年度第2四半期決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	336	323	▲13 (▲4%)	+4 (+1%)
アジア	149	147	▲2 (▲1%)	+1 (+1%)
米州	159	163	+4 (+2%)	+1 (+1%)
欧州	19	20	+1 (+3%)	+1 (+8%)
合計	665	655	▲10 (▲2%)	+9 (+1%)
営業利益	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	77	46	▲31 (▲40%)	▲28 (▲36%)
アジア	29	22	▲7 (▲23%)	▲5 (▲20%)
米州	10	4	▲6 (▲52%)	▲5 (▲53%)
欧州	▲6	▲4	+2	+2
合計	110	69	▲41 (▲37%)	▲38 (▲34%)

グローバル住設事業（海外）は減収減益。（為替除くと増収減益）

2019年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万元

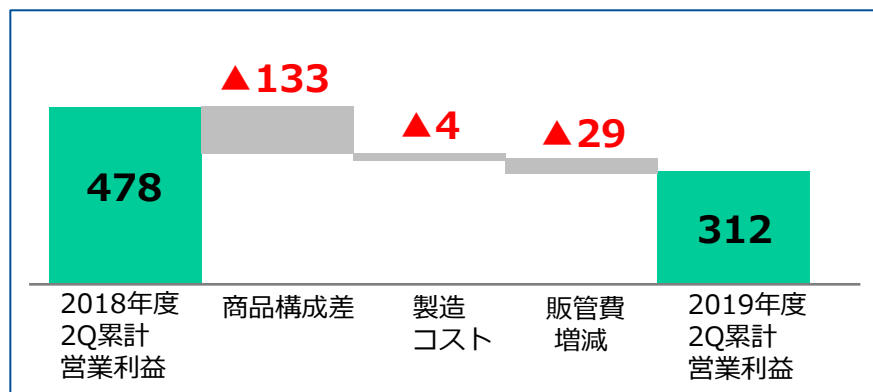
	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差（前年比）
売上高	1,964	1,992	+28 (+1%)
営業利益	478	312	▲166(▲35%)
営業利益率	24%	16%	▲8pt

第3四半期(7月～9月)の売上高は前年同期比+28%

為替レート	2018年度2Q	2019年度2Q
1円	17.1円	16.1円

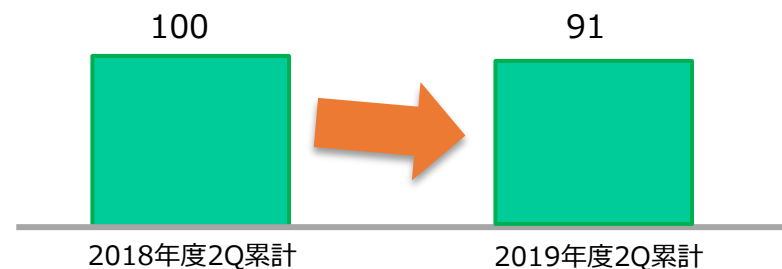
営業利益の増減要因

単位：百万元



ウォシュレットの販売台数（前年比）

2018年度2Q累計を100とした指数



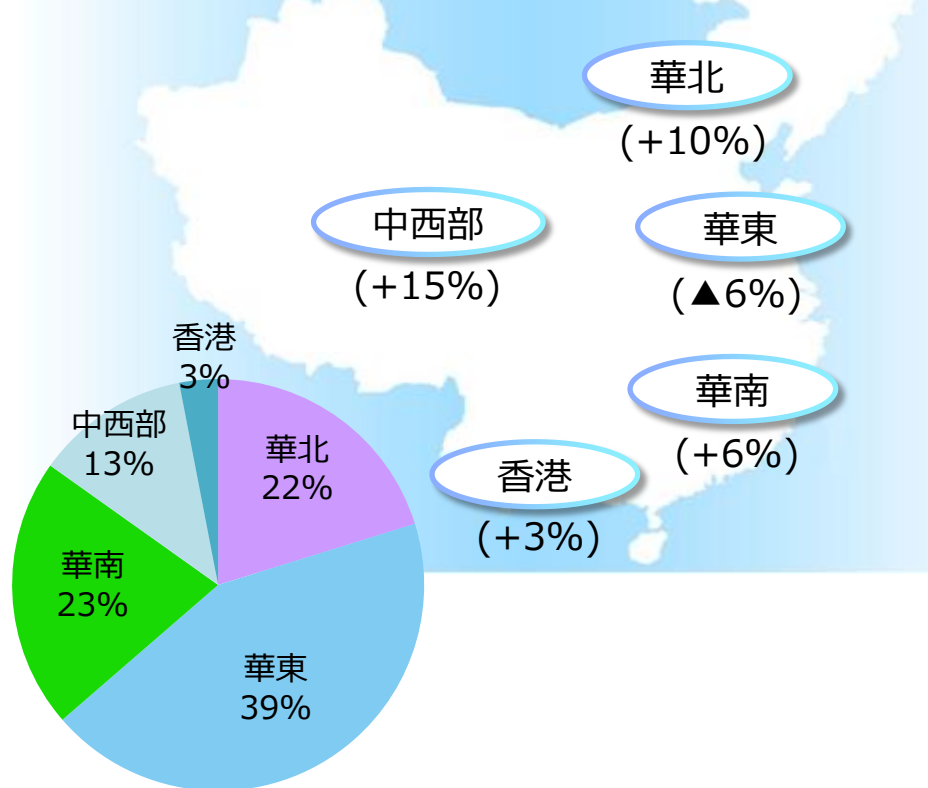
二、三線都市への取組み強化により売上は回復するも、
一線都市の市況停滞に伴う商品構成悪化により減益。

2019年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高（前年比）

中国事業計：+1%（現地通貨ベース）

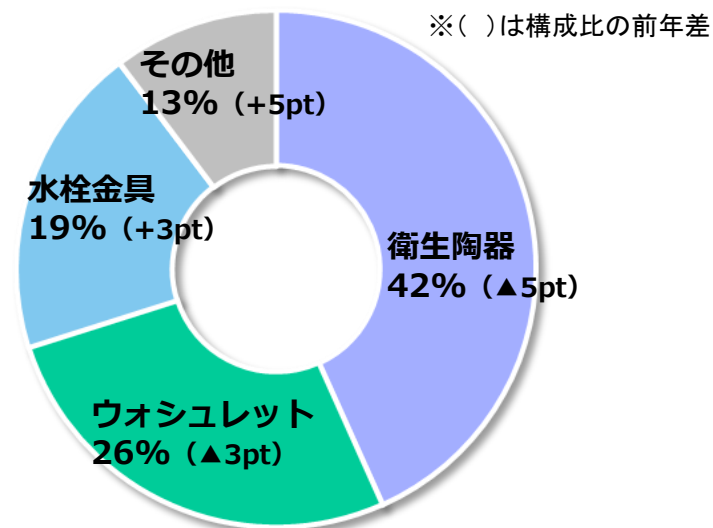


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高（前年比）

商品	前年比
衛生陶器	▲6%
ウォシュレット	▲5%
水栓金具	+25%

■ 売上高に占める商品構成比



華東を除き増収。商品別では衛生陶器、ウォシュレットが前年割れ。
第2四半期以降は全商品で前年を上回り堅調に推移。

2019年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

エリア別
売上高構成比

台湾	ベトナム	その他
44%	26%	30%

単位：百万台湾ドル

台湾	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高	1,664	1,817	+153 (+9%)
営業利益	410	417	+7 (+2%)
営業利益率	25%	23%	▲2pt

第3四半期(7月～9月)の売上高は前年同期比+5%

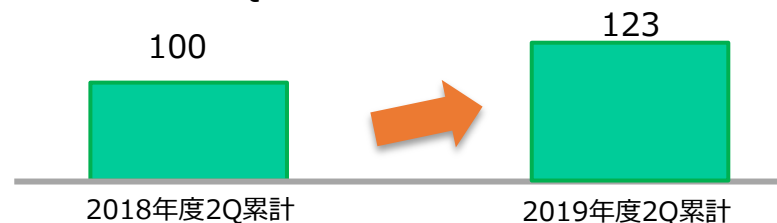
単位：10億ドン

ベトナム	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高 [外部顧客売上高]	1,709 [960]	1,674 [808]	(▲2%) (▲16%)
営業利益	271	209	▲62 (▲23%)
営業利益率	16%	12%	▲4pt

第3四半期(7月～9月)の外部顧客売上高は前年同期比+42%

■ウォシュレットの販売台数（前年比）

2018年度2Q累計を100とした指数



為替レート	2018年度2Q	2019年度2Q
1台湾ドル	3.67円	3.53円

為替レート	2018年度2Q	2019年度2Q
1ドン	0.00477円	0.00470円

台湾は新築市場の回復により増収増益。

ベトナムは新商品発売に伴う、一時的な調整の影響で減収減益。（第3四半期は回復）

2019年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ドル

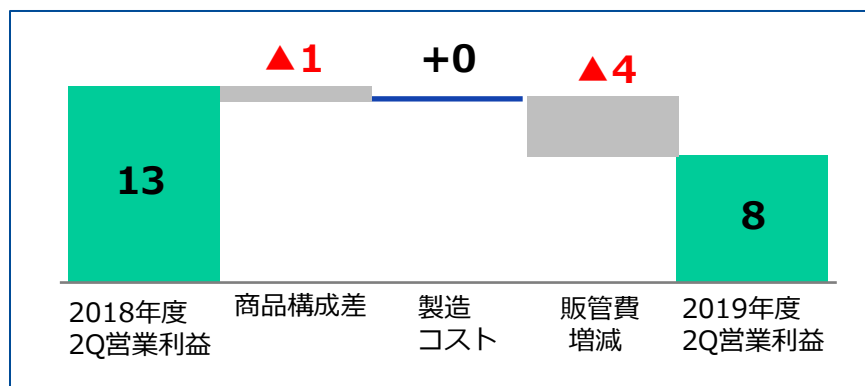
	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差(前年比)
売上高	147	148	+1(+1%)
営業利益	13	8	▲5(▲40%)
営業利益率	9%	6%	▲3pt

第3四半期(7月～9月)の売上高は前年同期比+12%

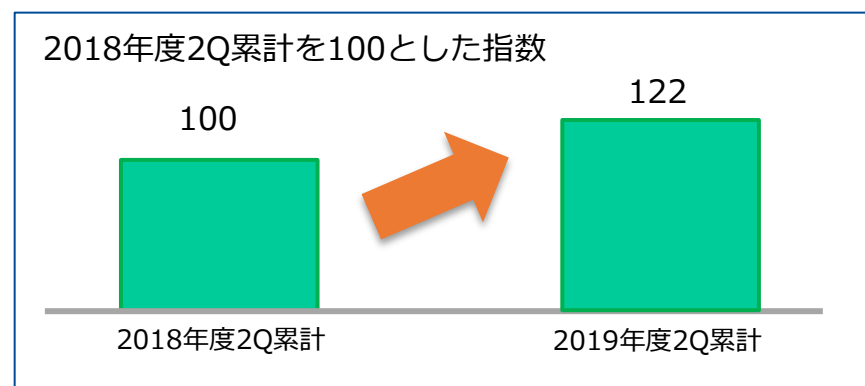
為替レート	2018年度2Q	2019年度2Q
1ドル	109.1円	109.9円

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



ウォシュレットの販売台数（前年比）



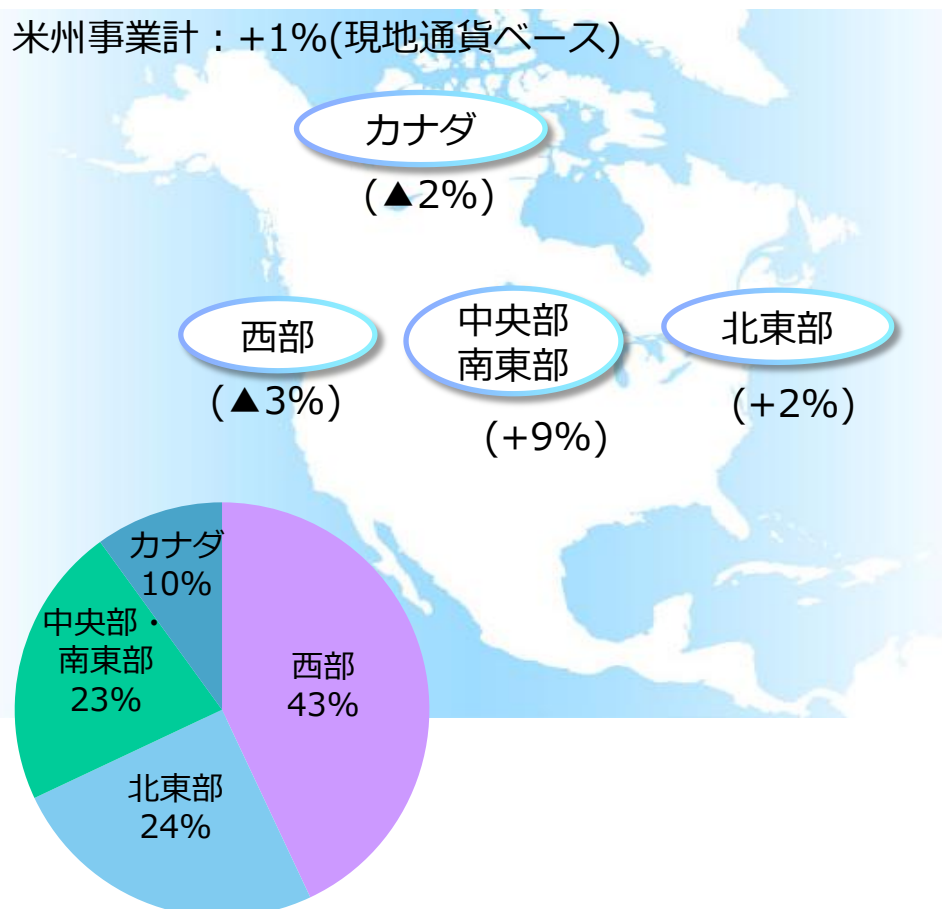
ウォシュレットの好調等により増収も、販促コスト増で減益。

2019年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績(米州)

■ 地域別の売上高（前年比）

米州事業計：+1%(現地通貨ベース)



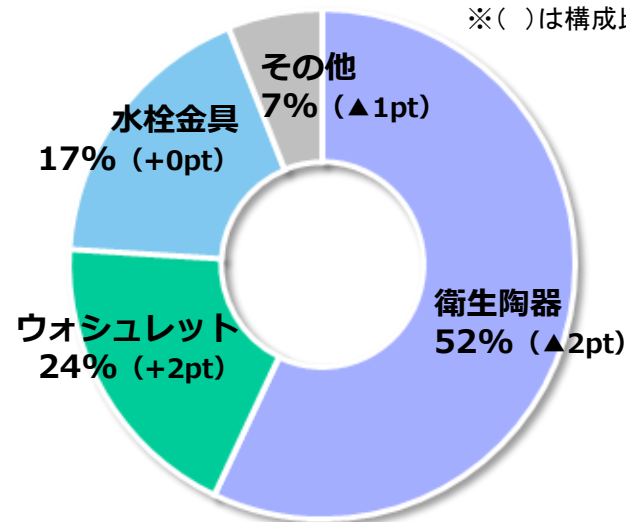
■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高（前年比）

商品	前年比
衛生陶器	▲2%
ウォシュレット	+9%
水栓金具	+1%

■ 売上高に占める商品構成比

※()は構成比の前年差



ウォシュレットが引き続き伸長。衛生陶器も下期から回復。

2019年度第2四半期決算

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差(前年比)
売上高	13	15	+2 (+11%)
営業利益	▲4	▲3	+1

為替レート	2018年度2Q	2019年度2Q
1ユーロ	130.0円	123.5円

第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は前年同期比+14%

■著名物件採用事例：

イギリス（ロンドン）Claridge's Hotel（クラリッジス ホテル）

ハイドパークに隣接する高級エリア・メイフェアに位置する、1856年創業の老舗高級ホテル。
NEOREST並びにWASHLET RXを客室に採用。



NEOREST EW



WASHLET RX



増収、赤字幅縮小。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2019年度第2四半期決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	114	81	▲33 (▲29%)	+0	▲33 (▲29%)
営業利益	8	▲4	▲12	+0	▲12

環境建材事業

単位：億円

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	37	37	+0 (+1%)		+0 (+1%)
営業利益	▲2	▲2	▲0		▲0

セラミック事業は、市況悪化の影響で減収赤字。

目次

1. 2019年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2019年度修正計画

社外からの評価

■ ESG投資指標

「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」の構成銘柄に8回目の選定

世界の代表的なESG投資指標である「Dow Jones Sustainability Indices」の「World Index (DJSI World)」の構成銘柄に選定。同銘柄への選定は8回目。アジア・太平洋地域版の「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄にも11年連続で選定。

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**



In collaboration with

a RobecoSAM brand

■ ESG世界的指数

「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に4年連続で選定

社会的責任投資の世界的指数である「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に4年連続で選定



FTSE4Good

生産拠点の再編

■ 北京東陶有限公司 衛生陶器生産を2019年9月末で終了

北京東陶の周辺地域は、従前より宅地化が進行していた。
また、2018年に北京市より公開された都市再開発計画で住宅用途地域となり、宅地化が急速に進んでいる。こうした状況変化を受け、北京東陶以外の中国国内拠点を中心に、ベトナム・タイなど周辺国の生産拠点も含めたグローバルな供給体制の最適化を検討してきた。この度、旺盛な中国市場への衛生陶器の安定供給が十分に行えることを確認できたため、北京東陶においては、合併パートナー企業との協議のうえ、同社工場での生産を終了することを決定。

中国・アジア地域の衛生陶器生産拠点（2019年10月以降）



目次

1. 2019年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2019年度修正計画

ハイライト

上期の実績と足下の状況を踏まえ、通期計画を修正。

修正計画：売上高 6,070億円 営業利益 390億円

売上高 : 110億円の下方修正 (6,180億円→6,070億円)

営業利益 : 60億円の下方修正 (450億円→ 390億円)

下方修正のセグメント別内訳

住設事業（日本） : 売上高+88億円 営業利益+38億円
上期の計画超過を反映。

住設事業（海外） : 売上高▲126億円 営業利益▲67億円
上期の計画未達に加え、下期を下方修正。

新領域事業 : 売上高▲70億円 営業利益▲33億円
上期の計画未達に加え、下期を下方修正。

2019年度修正計画

P/L概要

単位：億円

	2018年度	2019年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響		当初計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	5,860	6,070	+210 (+4%)	▲65	+275 (+5%)	6,180	▲110 (▲2%)
営業利益 [営業利益率]	401 [6.9%]	390 [6.4%]	▲11 (▲3%)	▲9	▲2 (▲0%)	450 [7.3%]	▲60 (▲13%)
経常利益	431	390	▲41 (▲9%)	▲22	▲19 (▲4%)	460	▲70 (▲15%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	323	265	▲58 (▲18%)	▲20	▲38 (▲12%)	330	▲65 (▲20%)
ROA	7.1%	6.7%	▲0.4pt			7.7%	▲1.0pt
ROE	9.6%	7.7%	▲1.9pt			9.6%	▲1.9pt

■為替レート

	2018年度		2019年度	2019年度 当初計画
	3Q実績	4Q実績	下期修正計画	
1ドル	111.4円	112.9円	106.0円	110.0円
1元	16.4円	16.3円	15.0円	16.0円
1ユーロ	129.6円	128.8円	119.4円	130.0円

北京東陶の生産終了の影響は、現在精査中であり、修正計画には含んでおりません。

通期計画を下方修正も、売上高は過去最高を目指す。

2019年度修正計画

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2018年度	2019年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替	為替影響除
				影響額	前年差(前年比)
住設事業 (日本)	4,251	4,479	+228 (+5%)		+228 (+5%)
住設事業 (海外)	1,304	1,360	+56 (+4%)	▲64	+120 (+9%)
新領域	302	230	▲72 (▲24%)	▲1	▲71 (▲23%)
その他	2	2	▲0		▲0
合計	5,860	6,070	+210 (+4%)	▲65	+275 (+5%)

当初計画	計画差
4,391	+88 (+2%)
1,486	▲126 (▲8%)
300	▲70 (▲23%)
3	▲1
6,180	▲110 (▲2%)

<営業利益>	2018年度	2019年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替	為替影響除
				影響額	前年差(前年比)
住設事業 (日本)	244	285	+41 (+17%)		+41 (+17%)
住設事業 (海外)	183	157	▲26 (▲14%)	▲9	▲17 (▲9%)
新領域	9	▲16	▲25	▲0	▲25
その他	▲35	▲36	▲1		▲1
合計	401	390	▲11 (▲3%)	▲9	▲2 (▲0%)

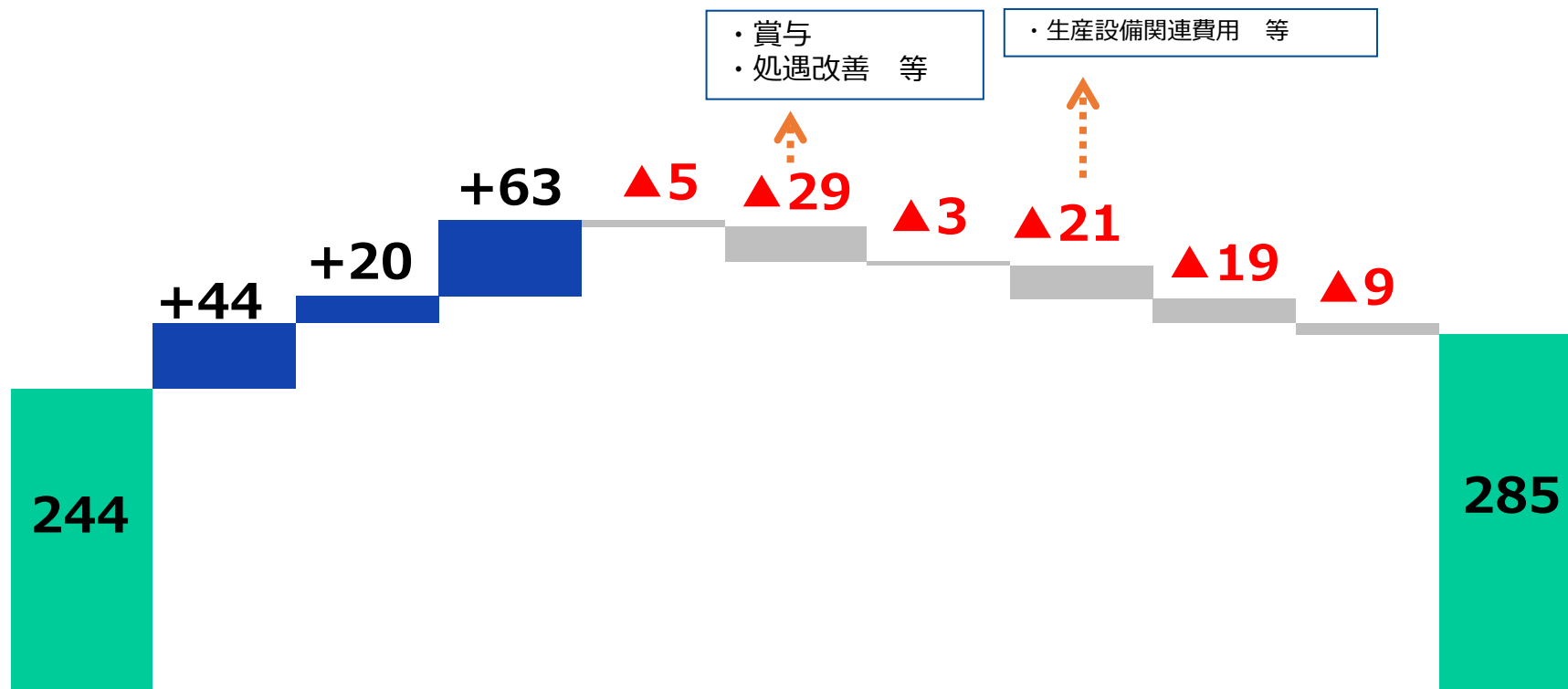
当初計画	計画差
247	+38 (+15%)
224	▲67 (▲30%)
17	▲33
▲38	+2
450	▲60 (▲13%)

2019年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異+41億円の内訳）

単位：億円



2018年度 営業利益	売上増減／ 商品構成差	価格改定 効果	為替 の影響	原材料の 影響	労務費の 増減	減価 償却費	開発・ 生産投資	販売 強化投資	その他	2019年度 営業利益
----------------	----------------	------------	-----------	------------	------------	-----------	-------------	------------	-----	----------------

当初計画差	+19	+0	+3	+5	+0	+3	+3	+3	+2	+38
-------	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2019年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

単位：億円

需要別

<リモデル>

	2018年度	2019年度 修正計画	前年差（前年比）	当初計画	計画差
売上高	2,905	3,079	+174（+6%）	2,999	+80
営業利益	213	250	+37（+17%）	216	+34
営業利益率	7%	8%	+1pt	7%	+1pt

<新築>

	2018年度	2019年度 修正計画	前年差（前年比）	当初計画	計画差
売上高	1,346	1,399	+53（+4%）	1,392	+7
営業利益	31	35	+4（+13%）	31	+4
営業利益率	2%	3%	+1pt	2%	+1pt

リモデル・新築ともに当初計画を上回り、増収増益。

2019年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

単位：億円

商品別

	売上高			営業利益		
	2018年度	2019年度 修正計画	前年差 (前年比)	2018年度	2019年度 修正計画	前年差 (前年比)
衛生陶器	900	949	+49 (+5%)	73	74	+1 (+1%)
ウォシュレット	959	996	+37 (+4%)	131	132	+1 (+1%)
水栓機器	901	938	+37 (+4%)	44	60	+16 (+36%)
浴室	974	1,050	+76 (+8%)	14	23	+9 (+59%)
キッチン・洗面	434	467	+33 (+8%)	▲9	3	+12 (-)
その他	81	78	▲3 (▲4%)	▲8	▲7	+1 (-)
合計	4,251	4,479	+228 (+5%)	244	285	+41 (+17%)

全商品で増収を計画。キッチン・洗面は通期で初の黒字計画。

2019年度修正計画

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2018年度	2019年度 修正計画	前年差(前年比)	為替影響除 前年差(前年比)	当初計画	計画差
中国	635	667	+32 (+5%)	+75(+12%)	710	▲43
アジア	318	329	+11 (+3%)	+22(+7%)	364	▲35
米州	313	325	+12 (+4%)	+18(+6%)	359	▲34
欧州	37	39	+2 (+3%)	+3 (+10%)	51	▲12
合計	1,304	1,360	+56(+4%)	+120(+9%)	1,486	▲126

営業利益	2018年度	2019年度 修正計画	前年差(前年比)	為替影響除 前年差(前年比)	当初計画	計画差
中国	123	102	▲21(▲18%)	▲14(▲12%)	145	▲43
アジア	54	54	▲0(▲1%)	+2(+4%)	62	▲8
米州	16	10	▲6(▲38%)	▲5(▲35%)	23	▲13
欧州	▲11	▲9	+2 (-)	+1 (-)	▲6	▲3
合計	183	157	▲26(▲14%)	▲17(▲9%)	224	▲67

当初計画には届かないものの、売上高は全エリアで前年超え。

2019年度修正計画

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2018年度	2019年度 修正計画	前年差 (前年比)	前年差の調整		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	221	149	▲72 (▲33%)	▲1	▲71 (▲32%)	213	▲64
営業利益	12	▲15	▲27	▲0	▲27	16	▲31

環境建材事業

単位：億円

	2018年度	2019年度 修正計画	前年差 (前年比)	前年差の調整		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	80	81	+1 (+0%)		+1 (+0%)	86	▲5
営業利益	▲3	▲1	+2		+2	0	▲1

市況の回復時期が想定より遅れる見通しから、セラミックを大幅下方修正。

株主配当

配当

	2018年度	2019年度	当初計画
中間	45.0円	45.0円	45.0円
期末	45.0円	45.0円	45.0円
年間計	90.0円	90.0円	90.0円
配当性向	47.1%	57.5%	46.2%

2019年度の配当は年間90円の計画。

このプレゼンテーション資料は、2019年10月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO